

日程	講座タイトル	学習内容	担当講師
4/15	入学ガイダンス (子午線ホールにて実施)	学習の進め方、学習資料代の納付 など	社会教育 コーディネーター
4/30 (火)	仲間づくり	受講生同士がコミュニケーションをとり、良好な関係を作り機会とする。	コーディネーター 高田知紀
5/7 (火)	オリエンテーション ～あかしの地域・自然・防災～	一年間の学習の流れを確認するとともに、地域・自然・防災をつなげる視点を学ぶ	高田知紀 兵庫県立大学 准教授
5/20	明石の河川と海岸を守る取り組み①	河川保全活動の実践紹介から、活動の背景や実践から得られた知見について学ぶ。	西谷寛 海と空の約束 プロジェクト代表
6/3	明石の河川と海岸を守る取り組み② ～朝霧川における活動体験～	地域における河川保全活動のノウハウについて、実際の活動から学びとる。	西谷寛
6/17	ウミガメが産卵できる海岸に	ウミガメの産卵というテーマを切り口にして、明石の海岸のこれからを考える。	大鹿達弥 元・須磨海浜水族園 飼育部長
7/1	一杯の水でわかる 生物分布・環境DNA調査 ※サイエンス学科との合同授業	水域生態系調査の最先端の手法としての「環境DNA調査」について学ぶ。	源利文 神戸大学教授
7/16 (火)	兵庫の海の生き物を守るために	私たちの生活と密接な関係にある海産物を取り巻く環境について理解を深める。	樋口和宏 兵庫県漁業協同 組合連合会
9/2	明石の海辺の 植物	明石の地域資源としての海辺の植物について、多様な観点から理解を深める。	高野哲司 インタープリテーション ネットワーク・ジャパン参与
9/17 (火) ※PM	兵庫の生き物 ～生きもの研究の今昔～	タンポポの分布を調べる市民参加型調査や明治昭和の生きもの研究について学ぶ。	鈴木武 兵庫県立 人と自然の博物館
10/7	身近な草花のを見つけ方(秋) ～明石公園における植物観察～	身近な草花のを見つけ方について、明石公園におけるフィールドワークを通して学ぶ。	高野哲司
10/21	明石の大地と播磨灘の生い立ちを探る	明石の地形と地質はどうなっているか。播磨平野と播磨灘はどのようにしてできたか。明石海峡はいつできたのか。明石の地形と地質を知り、3億年の大地の歴史を探る。	觜本 格 元・神戸親和女子大学 教授
11/5 (火)	神社と伝承から明石の自然環境を見つめなおす	地理・地形、生態系、災害リスクなどの要素を「神社」と「伝承」という視点から、実際に明石のまちを歩きながら考える。	高田知紀
11/18	地域空間を包括的に捉える視点	フィールドワークをふり返りながら、地域の空間を包括的に捉える視点を深める。	高田知紀
12/2	あかしの自然の『めぐみ』と『リスク』を共有するマップづくり ①	グループごとにあかしの多様な自然環境を表現・共有するためのマップ作成に向け、フィールドワークを行う。	グループによる 課題学習
12/16	あかしの自然の『めぐみ』と『リスク』を共有するマップづくり ②	明石の自然がもたらす「めぐみ」と「リスク」をテーマにグループごとにマップを作成し、地域の魅力と課題を再発見する。	高田知紀
1/6	あかしの自然の『めぐみ』と『リスク』を共有するマップづくり ③	作成したマップをグループごとに発表することで、相互に学びを深め合う。	高田知紀
1/20	明石における活動 紹介	明石市内で行われている環境・防災に関する実践について具体的なイメージをつかむ。	高田知紀
2/3	1年間のふり返りと まとめ ～今後の自分の動きは？～	1年間の学習をふり返り、今後、どのような動きをしていきたいのかを検討する。	高田知紀